

## 資料 8

### 宇宙産業・科学技術基盤部会において検討すべき事項（案）

平成27年9月25日

山川 宏

- 技術試験衛星について、技術開発から国際展開に至るロードマップを具体化すること。
- 新型基幹ロケット及びイプシロンロケットに関し、最新の開発計画を反映すること。その際、打上ニーズの動向を調査し開発に反映すること。
- 国内外の射場調査に着手し、射場の在り方の論点の検討に反映すること。
- 宇宙科学・探査について、宇宙科学・探査小委員会の議論を踏まえ、公募型小型及び戦略的中型のプロジェクトを特定すること。
- 国際宇宙ステーション（ISS）の運用延長問題に関して、日米宇宙協力の新たな時代に相応しい在り方の再定義や利用成果最大化等の検討を行い、米国等との調整を踏まえた具体化を行うこと。
- 調査分析・戦略立案機能の強化について、関係府省等が実施した宇宙に関する調査に関する情報ポータルを設置等の検討を行い、次年度以降の取組を具体化すること。
- 今年度中に取りまとめる「部品に関する技術戦略」の検討状況を踏まえた次年度以降の取組を具体化すること。
- 宇宙二法（宇宙活動法、リモートセンシング法）に関しては、中間とりまとめ時に今後の検討事項としていた点について、具体化すること。
- 宇宙システム海外展開タスクフォースに関しては、会議の開催状況や今後の見込み等について公表可能な範囲で明らかにすること。その上で、活動状況の検証を行い、新たな施策の議論に適宜反映すること。また、諸外国等との人工衛星の共同開発等に向けた取組についても、具体化を行うこと。